

# 川崎市公共施設白書 (概要版)

【令和3（2021）年度】

令和6（2024）年3月  
川崎市

# 川崎市公共施設白書について

## ・「川崎市公共施設白書（本編）」とは

公共施設の施設概要、利用状況・運営状況、コスト状況などを施設分類ごとに整理し、まとめたものです。また、その分析により、施設分類ごとの現状と課題を明らかにするものです。

## ・「川崎市公共施設白書（分析編）」とは

公共施設白書（本編）のデータをもとに、公共建築物の延床面積、利用状況に焦点を当て、過去3年度分のデータを対比し分析を行ったものです。

### 川崎市公共施設白書

- ・ 公共施設に関する施設概要、利用状況・運営状況やコスト状況などを施設分類ごとに整理し、まとめたもの
- ・ 分析により、施設分類ごとの現状と課題を明らかにするもの

### 活用

- ・ [3期実施方針](#)に基づき地域ごと、機能ごとの資産保有の最適化推進
- ・ 本市公共施設の状況を市民に広く知っていただくこと

川崎市公共施設白書（概要版）は、川崎市公共施設白書（本編）及び川崎市公共施設白書（分析編）に掲載しているグラフを中心に、白書のポイントをまとめたものです。

# 施設総量

令和元年度と令和3年度を比較すると、施設総量は約0.4%の増加となっています。

- ・学校施設については、児童数増加及び35人学級の導入によるクラス数の増加により、校舎増築を行った関係で増加傾向にあります。
- ・市営住宅の管理戸数については「第4次川崎市市営住宅等ストック総合活用計画」に基づき、当面は引き続き維持することとしています。延床面積については、市営住宅の建替に伴う解体工事の進捗状況により、減少となっています。
- ・庁舎等建築物については、施設総量は増加傾向となっています。

図 学校施設、市営住宅、庁舎等建築物の延床面積の過年度比較  
(令和4(2022)年3月末時点)



(注1) 借受施設を除く

(注2) その他施設には消防施設 51,147 m<sup>2</sup>、上下水道施設 15,408 m<sup>2</sup>、交通施設 12,995 m<sup>2</sup>、防災施設 4,304 m<sup>2</sup>、駅周辺施設 3,842 m<sup>2</sup>が含まれています(面積は令和3年度の数值。端数処理を行っています。)

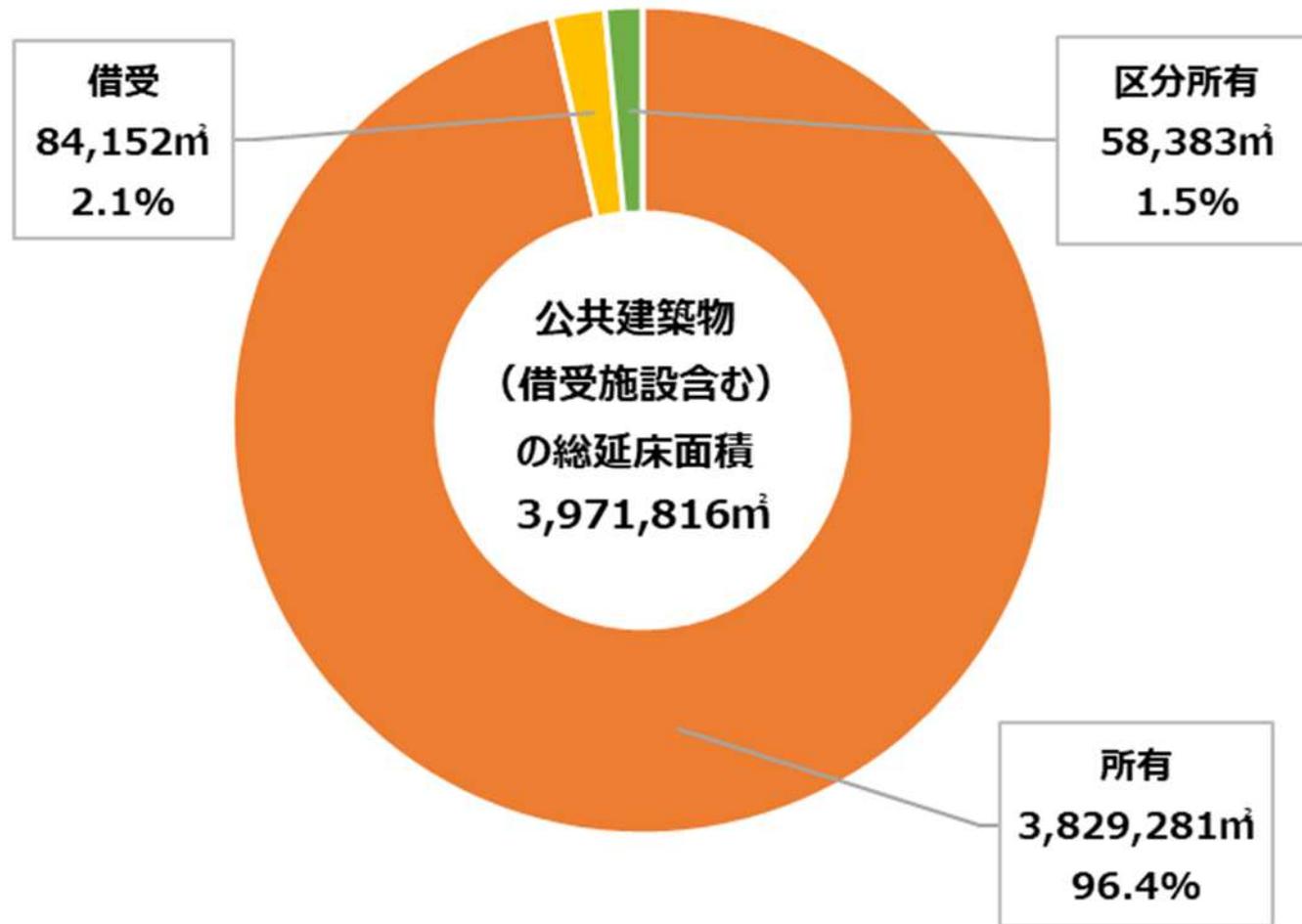
図 庁舎等建築物の大分類別延床面積の過年度比較  
(令和4(2022)年3月末時点)



# 所有形態

公共建築物の所有形態別の割合は市が直接所有するものが96.4%となっています。

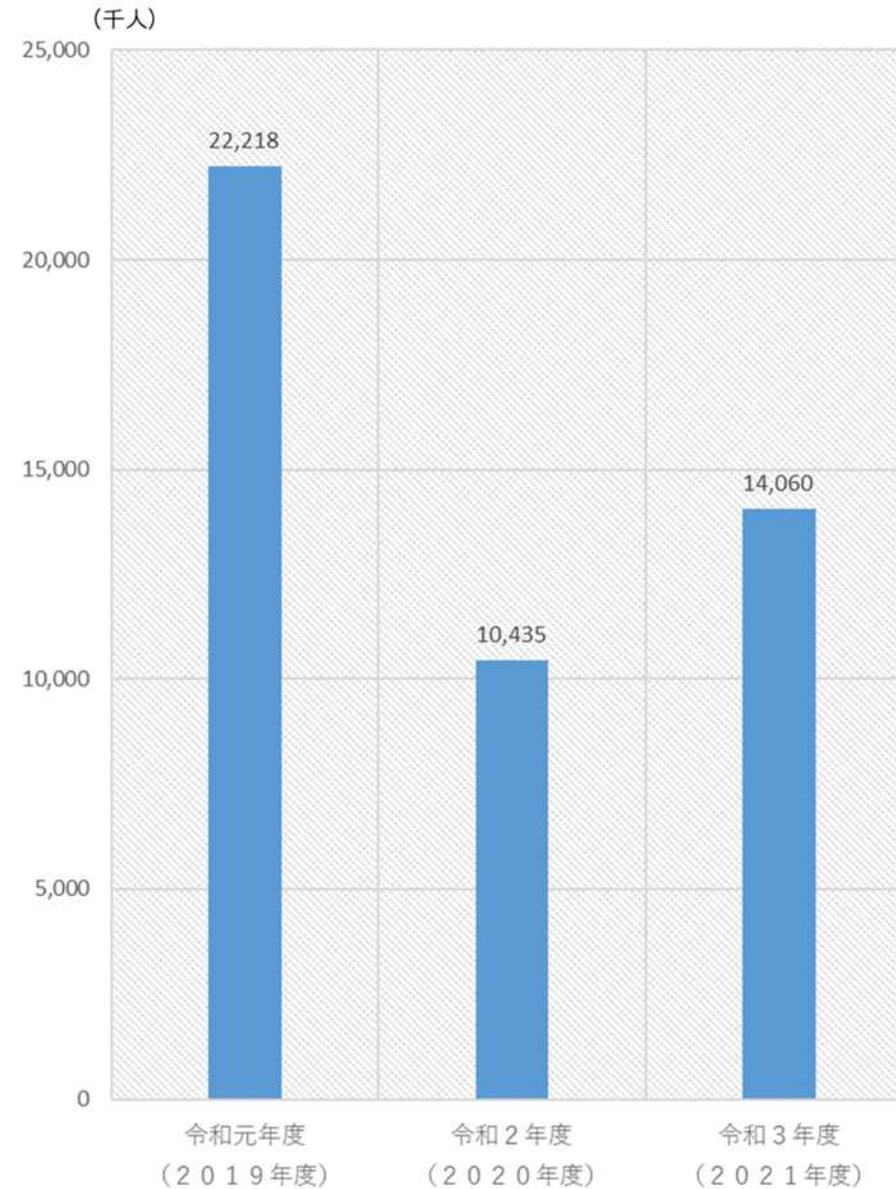
図 公共建築物の所有形態別の割合 (令和4(2022)年3月末時点)



# 施設の利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響で施設全体の年間利用者数は減少してるものの、令和2年度以降は回復傾向がみられます。

図 公共建築物（市民利用施設）の年間利用者数過年度比較  
（令和元（2019）年～令和3（2021）年度）



# 施設の築年数

令和4（2022）年3月末時点における、公共建築物の築年数は、築30～39年が約29.3%、築40～49年が約22.1%、築50年以上が約7.3%となっており、築30年以上の建築物が6割弱を占める状況となっています。また、築年数の平均を施設の大分類別に見ると、学校施設、市営住宅施設、商業・産業施設、庁舎施設、環境衛生施設が築30年を越えています。

図 公共建築物（本市保有）の築年数  
（令和4（2022）年3月末時点）

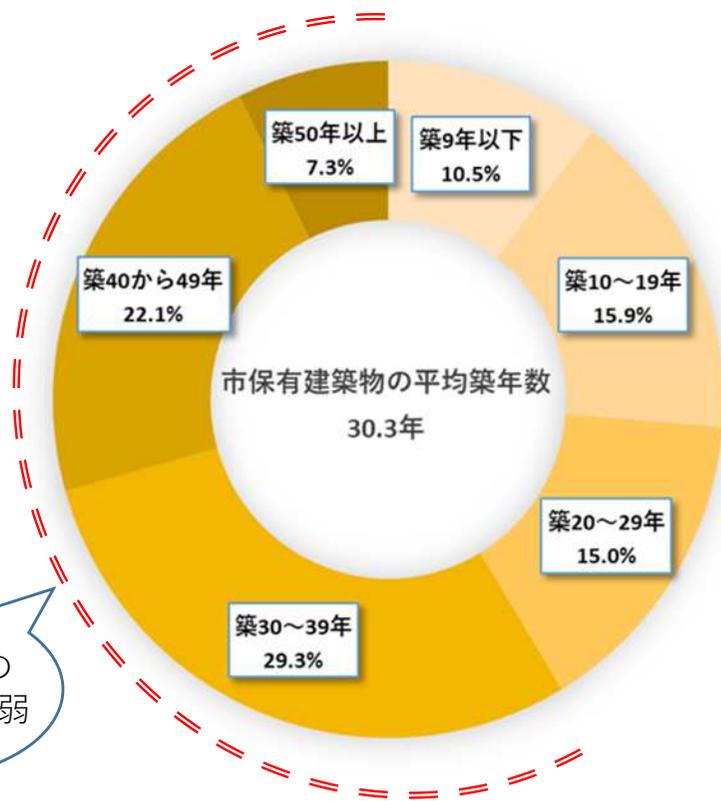
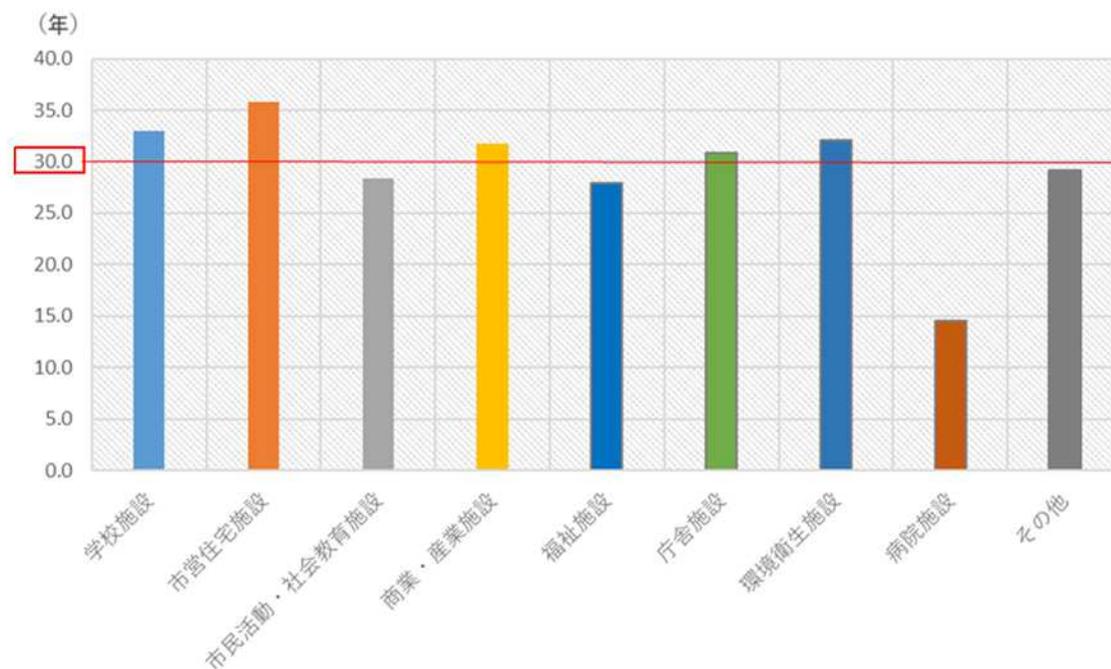


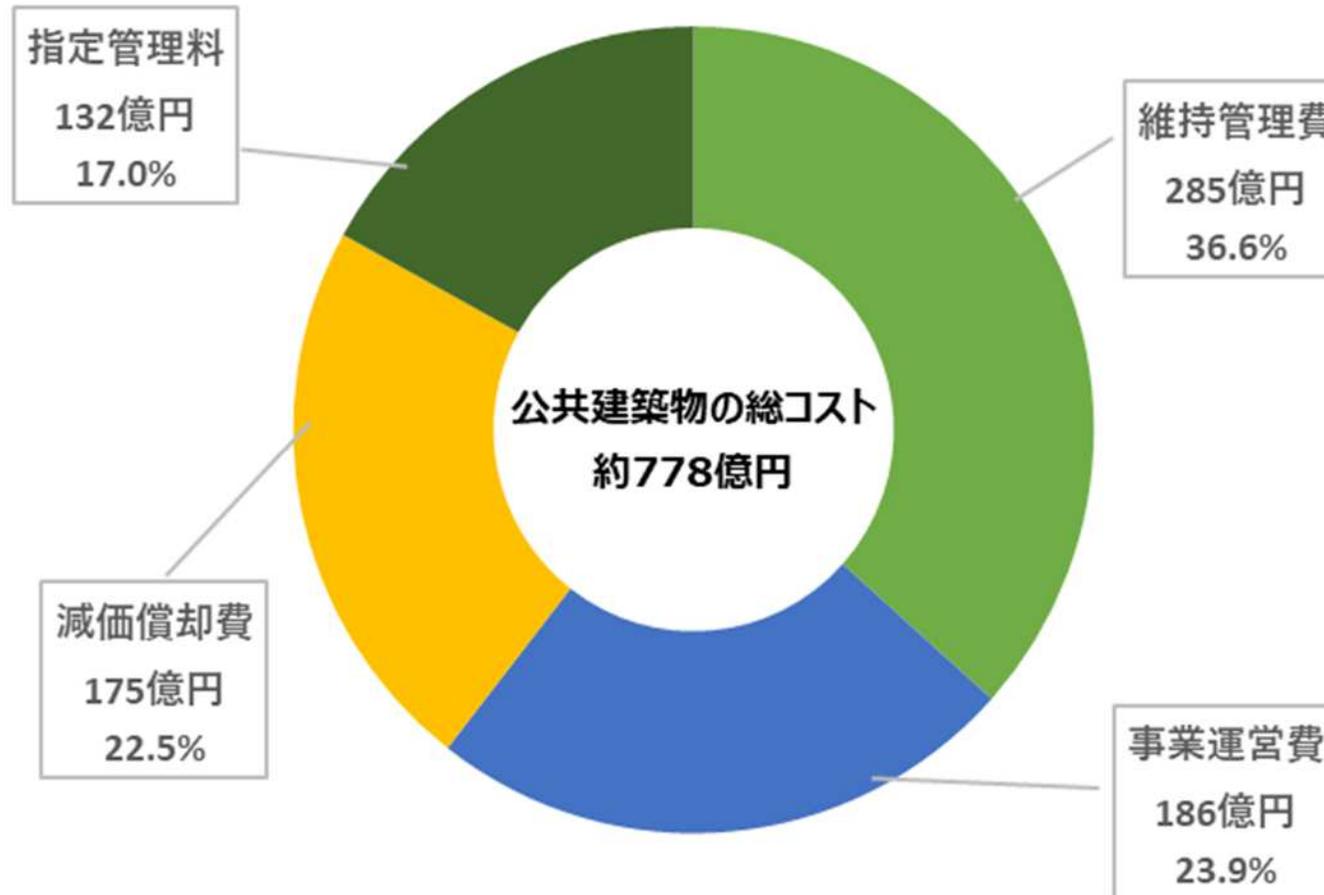
図 公共建築物（本市保有）の大分類別築年数平均  
（令和4（2022）年3月末時点）



# 公共建築物の総コスト内訳

令和3年度の公共建築物にかかる総コスト（維持管理費・事業運営費・減価償却費・指定管理料）は約778億円となっています（解体・新築関連経費、大規模改修費を除く）。内訳別では、維持管理費が約285億円(36.6%)、事業運営費が約186億円(23.9%)、減価償却費が約175億円(22.5%)、指定管理料が約132億円(17.0%)となっています。

図 本市公共建築物にかかる総コスト内訳  
(令和3(2021)年度決算、企業会計除く)



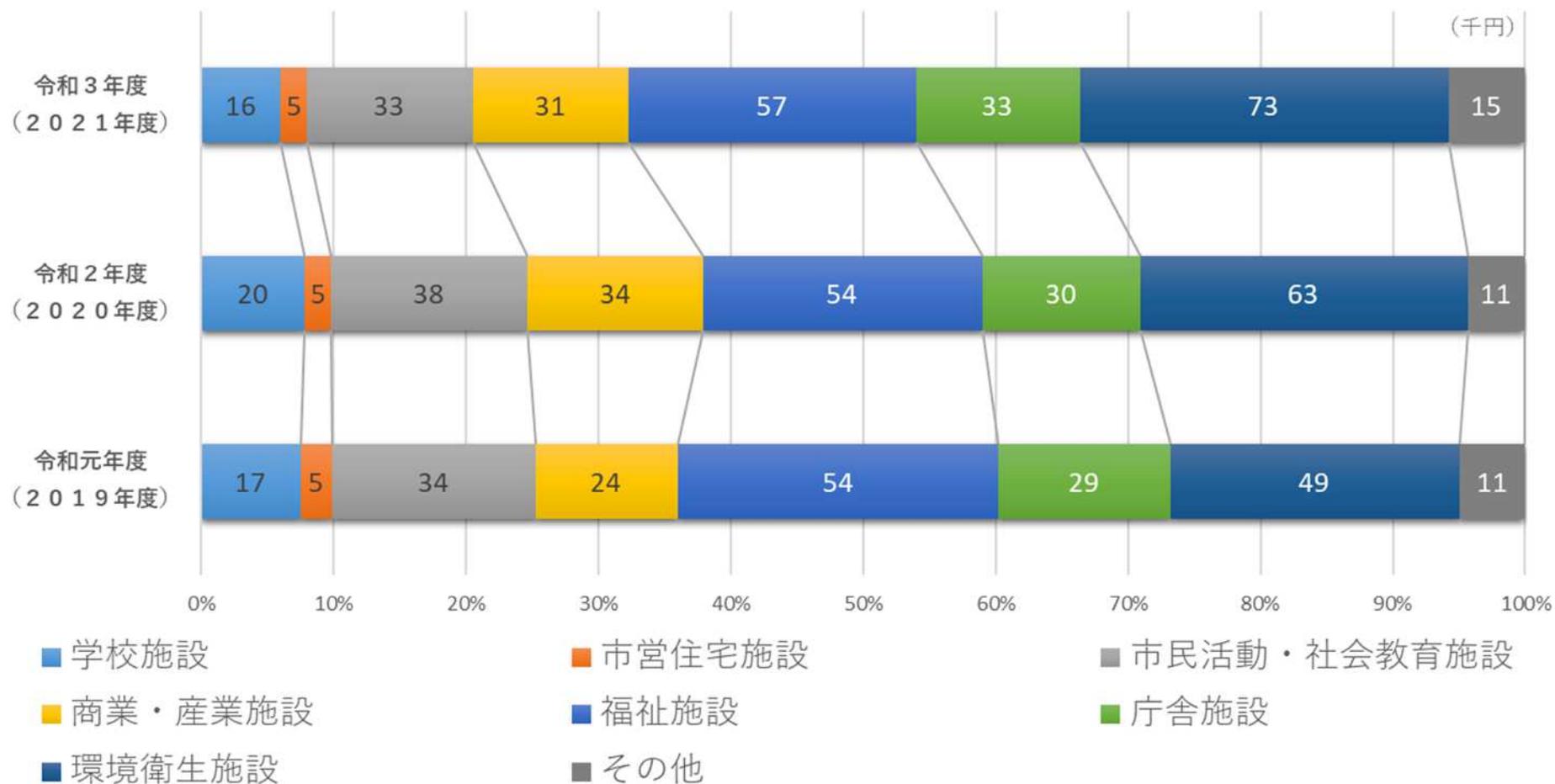
(注1) 公共建築物にかかるコストを算出し作成（借受施設の賃借料も含む）

(注2) 解体・新築関連経費、大規模改修費を除く

# 施設分類別コスト状況

過去3年間の状況を見ると、「福祉施設」、「環境衛生施設」が約2割、「市民活動・社会教育施設」、「商業・産業施設」、「庁舎施設」が約1割を占めており、3か年とも同様の傾向にあります。

図 本市公共建築物にかかる1㎡あたりのコスト分類別過年度比較  
(令和元(2019)年～令和3(2021)年度各年度決算、企業会計除く)



(注1) 借受施設の賃借料も含む

(注2) 解体・新築関連経費、大規模改修費を除く

COLORS  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th



川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。  
ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、  
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた  
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、  
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、  
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。  
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

# 川崎市公共施設白書 令和3（2021）年度概要版 令和6（2024）年3月

（問い合わせ）

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

TEL 044-200-1226

FAX 044-200-3627

E-mail 17koukyo@city.kawasaki.jp